



### 不法投棄のない地域を目指す

不法投棄を減らす目的で島根県が設けている不法廃棄監視モニターの委嘱式が6月3日、健康福祉センターで行われました。この制度は、モニターによるパトロールや啓発活動を通じて、廃棄物を捨てにくい環境づくりを目指すものです。

式後は関係者で、重点監視地域の確認や発見時の速やかな通報などを申し合わせ。長谷川弘治さんは「周囲を巻き込んで不法投棄の防止に取り組みたい」と話していました。



▶クラブ内で宿題に取り組み児童の皆さん。

◀委嘱状を受け取る長谷川さん(広瀬町・左)と小谷定夫さん(同)。



### ひろせ学童クラブを開設

市では初めての社会福祉法人への委託となる「ひろせ学童クラブ」が4月から運営を開始しています。社会福祉法人明星会が経営する「ひろせ保育園」内の空き教室を活用して開設。現在、38人の登録があり、放課後や土曜日、長期休暇などに児童を受け入れる予定です。

舟谷法子園長は「児童と園児とのふれあいの時間を設けています。運動会など、小学校の話題を聞くことができるので、園児たちにとってもメリットがあります」と話していました。

▶イチゴのパック詰め体験をする学生たち。



### 島大生が安来の施策を学ぶ

市は、中海・宍道湖・大山圏域市長会の構成市として、島根大学と共同で行う人材育成事業に取り組んでいます。

この事業は大学生が授業の中で、市の総合戦略や施策を学び、地域の現状を分析するというものです。6月1日には学生10人が安来を訪問。市が取り組む新規就農支援を受けた農場での農業体験や安来節の観覧などで安来への理解を深めました。学生たちは今回の訪問をもとに7月に、大学で報告会を行う予定となっています。

### 広報紙が総務大臣賞を受賞

(公財)日本広報協会が開催する全国広報コンクールの広報写真・組み写真部門で、広報やすぎ「どげなかね」が日本一となる特選・総務大臣賞を受賞しました。受賞したのは、平成30年11月号の紙面。昨年9月に開催した戦国尼子フェスティバルの武者行列の様子を、複数枚の写真を使って編集しています。

静と動、アップとロング、色の対比、武者と見物客、アクセントとなる切り抜き写真など、写真構成のバランスがとれている点などが評価されました。



▶受賞した広報紙平成30年11月号の紙面(12、13ページ)。